

長浜

←至 内川内、瀬々野浦

昔、榎の木集落の子供たちが、長浜小学校への通学に使っていた道。現在は、長浜地区コミュニティ協議会により、登山道として整備され、年に1度、「榎の木児道を歩こう会」が行われる。

漁に行く船が、一望できる。貴船観音公園安全祈願をする場所。

終戦後、GHQによりレーダーサイトと道路の工事が始まった。

自衛隊道路

5階建ての集合住宅（自衛隊）

道路の改良などで、本来の祠堂は壊されてしまったが、現在は小さな祠がある。

長浜港がよく見える高台。

竜宮に住むとされる海神、豊玉彦と豊玉姫を祀っている。敷塩神社の鳥居は御影石の一枚岩でできている。長浜地区コミュニティセンターで御朱印がもらえる。

ツークウエン跡

戦没者慰霊碑
敷塩神社

長浜小学校

阿弥陀堂跡

長浜共同墓地

昔、阿弥陀堂があった場所で、現在は石碑がある。阿弥陀堂に安置されていた平安時代の木佛阿弥陀如来像は現在、長光寺の御本尊として安置されている。

薩摩藩から浄土真宗（一向宗）の信仰を禁止されていた時代に、山に仏像を隠し、こっそりと信仰していた。

昔、子供たちが内緒で甕山犬を飼っていた。

旧生活用水として使われていた湧水。

隠れ念仏

昔アコウの木があり、子供たちのピクニックの場所だった。木に隠した弁当をカラスにとられる事があった。

水がたんたん湧き出る湧水

ひのひけタンタン川

薬師堂跡

薬師道（元来の榎の木児道入り口）

キバ

昔、イワシの加工場や、製造納屋があった。

長浜港ターミナル
下甕島観光案内所

長浜駐在所

消防署

宣教師上陸記念碑

長浜緑地公園

かつてははまぐりが取れる遠浅の浜で、造船所もあった。砂浜がヘリポートだった。

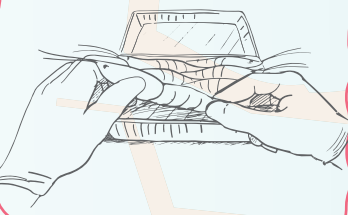
子供たちは、磯遊びをして貝などを取りその場で食べていた。

イカ釣場（アオリイカが釣れる）

大瀬

長浜のタカエビ

長浜では、下甕島の特産タカエビ（薩摩甘えび）が水揚げされる漁港がある。地元の人たちが協力しあい、エビの選別などが行われている。



えびすさん

水神様

長浜漁協周辺が埋め立てられる前、このあたりに「せんとうぼうした」という名前の大きな岩があり、子供たちはそこからよく海に飛び込んで遊んでいた。

長浜地区

開放的な気質の漁師町

昔から現在まで沢山の人の受け入れ交流してきた長浜地区。地区内に航空自衛隊の分屯基地があり、下甕島の中で最も人口が多い。長浜漁協では、漁の時期はタカエビの選別を行っている様子が見られ、直接タカエビを購入することができます。長浜から3kmほど離れたところにある芦浜には、美しい砂浜があり、マリンスポーツを楽しむことができます。

長浜地区のイベント・行事

- 11月 えびす祭り
敷塩神社 秋の大祭・戦没者慰霊祭
- 2月 榎の木児道を歩こう会
- イチョシ方言：まがいめ（曲がり道）
- かえるの呼び方：がくろんこう

長浜地区はこの辺り！

日本に4基しかない通称ガメラレーダー。2008年度末に国内で初めて運用を開始した。

レーダー基地

長浜中学校の持久走大会では、自衛隊の分屯基地までの急勾配を走っていた。

長浜

長浜港

長浜湾

脇鼻

長浜崎

別当（血の池）
川と海の合流地点。
魚釣りができる。

尾山の鼻

芦浜

芦浜

芦浜では海の玉石のことをごっこん石という。波でゴロゴロ転がる音を、ごっこんと呼んでいる事からその名がついた。

昔は、キビナゴが主となる地引網漁を行っていた。

尾岳から流れる川。
昔、子どもの遊び場だった。

昔は、食料品、日用品などは長浜から船で運んでいた。山道が通れなくなった時は船で学校に通っていた。

綺麗な砂浜がある。
SUPやサーフィンなどのマリンスポーツや海水浴ができる。

亀の形をした足洗い場。
一年中水が湧いている。

貝塚跡

足洗い場

シャワー・トイレ（夏季限定）

芦浜海岸海水浴場

行き止まり



60m



70m